

○欠缺利札ニ対スル承認支払方ニ関スル件

(明治43年10月6日 往第10795号)
(大蔵省国債局長から 日本銀行)
国債局長あて

客月17日付国債第709号ヲ以テ国債証券ノ欠缺利札ニ対スル仕払取扱方ノ件御照会ノ趣了承第1項欠缺利札ニ付テ法律第34号第6条ニ依リ仕払ノ請求アリタルトキハ元金ノ一部トシテ仕払相成可然第2項欠缺利札ニ対スル納付金ハ如何ナル事由アリトモ還付スヘキモノニ無之候得共該欠缺利札ニ付テ右第6条ニ依ル仕払請求アリタル場合苟モ其ノ利札面記載ノ利子仕払期到来以後ナルトキハ元金償還期ノ如何ニ拘ラス仕払ヲ為シ可然ト存候此段及御回答候也

(照会内容)

第1 無記名国債証券償還ノ場合ニ附属利札ノ欠缺セルモノアルトキハ之ニ相当スル金額ヲ元金ノ内ヨリ控除スルコトハ明治39年法律第34号第7条第1項ノ規定スル所ニシテ債主カ其ノ控除セラレタル金額ノ仕払ヲ請求スルニハ同条第2項ニ依リ欠缺

利札ヲ提出スルヨリ他ニ致方無之様被相考候へ共同法第6条ニ於テハ無記名国債証券利札ノ滅失又ハ紛失ニ対シ担保ヲ提供シ又ハ保証人ヲ立テテ仕払ノ請求ヲ為シ得ルノ途ヲ規定セラレ候ニ付前記欠缺利札ニ対シテモ仕払ノ請求ヲ為シ得ルヤニモ相見え候若シ其ノ請求ヲ為シ得ルトセハ該欠缺利札金ハ元金ノ一部トシテ直ニ仕払ノ請求ヲ為シ得ルヤ又ハ利子トシテ渡期ノ到来ヲ待ツテ其ノ請求ヲ為スヘキヤ

第2 毀損ノ無記名国債証券引換請求ノ際附属利札中欠缺セルモノアルニ因リ国債規則『第10条』(編注)ニ依リ其ノ欠缺利札ニ於ケル利子金額ニ相当スル現金ヲ納付セシメ候処其代リ証券ハ今回償還セラレ候ニ付右納付金ニ対スル利札金額ノ仕払ヲ請求スルモノニ有之候然ルニ納付金ノ仕払ニ就テハ何等ノ明文モ無之候へ共明治39年法律第34号第6条ニ依リ償還期日前仕払期ノ開始セル毀損証券附属ノ欠缺利札ニ対シテハ仕払ノ請求ヲ為シ得ルヤニモ相見え候若シ然ルトセハ償還期日後ノ渡期ニ属シ未タ仕払期ノ開始セサルモノニ対シテモ仕払ノ請求ヲ為シ得ルヤ仮リニ得ルトセハ直ニ請求ヲ為スヘキヤ又ハ利札面ノ渡期ノ到来ヲ待ツテ請求スヘキヤ右ハ目下差シ掛リタル事件有之候間至急何分ノ御回示相煩度此段及御照会候也

(編注) 『 』内を「第14条」と読み替える。